

朝方から時折小雨がぱらつく不安定な天気となった10月1日(火)、第119回「ほほえみ交流カフェ」が開催されました。

| | | |
|----------|-----|------|
| シニア | 17名 | |
| 講師 | 2名 | |
| 葛が谷ケアプラザ | 1名 | |
| 葛が谷薬局 | 1名 | |
| スタッフ | 8名 | 計29名 |



代表、スタッフの挨拶の後、都筑警察署による講演が始まります。

テーマは「特殊詐欺あれこれ」、お話いただくのは都筑警察署生活安全課の滝口警部補です。開口一番「人前で話すのは得意ではない」とのことでしたが、とんでもありません。前説でいきなり会場の興味を鷲掴み。ご自身のお父様が危うく詐欺被害に会いかけた話。絶妙な伏線を仕込んであり、ドラマのように面白い。

詐欺にあう暫く前にご実家は空き巣被害に会ったことがあったそうで、警察が調べたところ、本棚にお父様のヘソクリがあるのを発見(空き巣は見逃していたようです)その時の警察のお母様への一言「家内平和のために、ヘソクリを見つけたことは言わないように」

時は移り、今度はお父様に詐欺グループから息子さん(警部補さん)を騙って電話が入ります「不倫をして部下を孕ませた。金が必要だ」慌てたお父様はお母様に「内緒」のヘソクリを振り込もうとします。お母様が変だと気づき息子さん(警部補)に連絡して、すんでのところ送金を止めたと。その後、お父様のヘソクリはあえなくお母様に没収とあいなったそうです。



警察関係者でも被害者になるほど、この手の犯罪は蔓延し且つ巧妙になっているわけです。人間心理として手元に現金があると騙され易いとのこと。自宅には極力高額な金品は置かないことが詐欺に引っかけからない第一歩。

お配りいただいた資料に沿って最近の詐欺手口をご紹介いただきました。古典的な「オレオレ詐欺」も何人もの人間が登場する「劇場型」に進化。公共機関を名乗った「還付金詐欺」、ウィルス感染させたパソコンの復旧を騙る「架空請求詐欺」、SNSのマッチングアプリを悪用し、寂しい独居シニアを狙う「ロマンス詐欺」など。また偽物の警察官がLineやビデオ通信で偽の「逮捕状」を示し金銭をだまし取る手口まで登場しているそうです。警察が人権の根幹に関わる「逮捕状」をLineなどで提示することは絶対にありません。新しい手口では、「高齢者介護施設の入居権が当たった。利用しないなら他の希望者に譲って欲しい」と。うっかり乗ってしまうと、警察や行政を騙る犯人が「違法行為」を咎め金銭を要求する「入居権詐欺」。詐欺被害の実に9割が高齢者だそうです。複数参加者からも怪しい電話を受けた経験があるとの発言も。

くわばらくわばら。

詐欺犯人は「攻め」に強いが、「守り」には弱いので、

- ・慌てない
- ・電話番号を聞いて掛け直すという
- ・固定電話が狙われやすいので、留守番電話設定しておく有効
- ・少しでも変だと思えば、警察に相談

尚、70歳以上のご家庭には、「ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエスト」が工事費無料で設定可能な制度があるそうです。是非ご利用ください。

警部補、ご多忙のところ、興味深いお話を有難うございました。これからも宜しくお願いします。

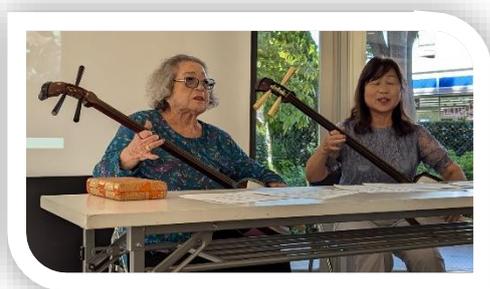


続いて、ケアプラザの山口さんから広報「ふれあいくん」のご照会と、江幡さんからは5年間続けた「Book Café」が12月で終了するとの寂しいお知らせがありました。残念ですね。



10月の誕生日は、本日のお楽しみコーナーの講師、佐藤さんは91歳、そして筆者は71歳となります。後述しますが、佐藤さん、本当に若い。筆者が佐藤さんの年齢に達するまで20年。先は長い。皆さんの「Happy birthday」でお祝いいただいた後は、

田辺さんのトークタイムでは、お父様の生家（栃木県）の墓仕舞いをしたお話。久しぶりに訪問したが、その変わりように驚いたと。誰もに平等に訪れる「死」と縁者がそれを受け入れる「墓」。人口減少と衰え行く地方の中、変わっていくしかない定でしょうか。



本日のお楽しみコーナーは佐藤母娘の「三味線と一緒に元気に唄いましょう」地元神奈川の「ダンチョネ節」でスタートし、季節に因んだ 秋田県「米節」、青森県「りんご節」と続き、最後は三重県「淡海節」を皆さんで歌いました。それにしても佐藤さんのお母様、バチさばきは勿論ですが、透き通った声が良く通ります。有難うございました。



そして、歌川さんの体操で、足首、首筋、手首を柔らかくほぐし、肩回り、肩甲骨の稼働域を拡げます。上体伸ばし、脇のストレッチ、上体前屈など身体全体を気持ちよく動かしました。

最後は、「ふれあい丘の街」を合唱してお開き。次回は11月5日（火）です。